

令和3年度地域活動支援事業 事例集

19 牧区

牧区総合事務所

No.01

笑顔育む椋谷の里景観づくり事業

まちづくりの推進

椋谷町内会

事業概要

集落のシンボルとなる花木園を整備し、笑顔あふれる安らぎのある地域をつくることを目的に、集落全員参加で水仙と彼岸花の球根を植栽し集落内の連帯意識やイメージ向上を図った。

事業評価・今後の活動の見通し

集落の入り口である花木園を整備したことにより、大勢の方が花木園を目にされ心の癒しを与えることができた。また、集落のイメージ向上や存在感の拡大につなげることができた。事業の計画づくりから植栽活動まで集落全員参加で実施したことにより、集落に対する愛着と連帯意識の向上が図られた。今後も集落全員参加で維持管理活動を行い、適正な管理に努めたい。



事業費 683,348 円

補助金額 612,000 円

No.02

柳島ふれあい花壇看板事業

まちづくりの推進

柳島老人クラブ

事業概要

花壇に看板を設置したことで、会員へ花壇の維持管理に対する自覚や生きがいの啓発を促し、責任感や健康意識の向上を図ることができた。

事業評価・今後の活動の見通し

花壇に看板を設置したことにより、会員が花壇の維持管理に対する自覚と責任感を育むことができた。また、花壇と看板がマッチし環境美化に貢献でき、花壇の前を通る人々に心の安らぎを与えることができた。今後も、降雪期を除いて花壇に花があふれるように努めたい。



事業費 121,000 円

補助金額 121,000 円

No.03

自主防災活動支援事業

地域の安全・安心

牧区防災士会

事業概要

地域の防災力向上と防災意識の高揚を図るため、訓練用資機材の保管庫を設置した。管理体制を明確にし、防災士が機材を活用して地域住民へ取り扱いの指導を行った。

事業評価・今後の活動の見通し

新型コロナウイルス感染症拡大の恐れと新潟県の「まん延防止等重点措置」の影響により、牧区全町内会を対象とした出前自主防災訓練の実施が一部難しい場面もあったが、町内会長や牧区総合事務所を対象にAEDの講習会等を実施した。今後も資材や機材の貸し出し及び希望する町内会に牧区防災士会の会員を派遣して訓練をサポートすることで、防災力の向上と防災意識の高揚を図りたい。



事業費 400,000 円

補助金額 360,000 円

No.04**ハンドストラクチャー及びテストスキー整備事業**

子どもの健全育成

牧クロスカントリースキークラブ

事業概要

スキーの普及や技術の向上を支援することを目的に、ハンドストラクチャー及びテストスキーの整備を行った。子どもたちがより良い環境下でスキーを行うことができ、スキー本来の楽しさを通して青少年の心身の鍛錬及び健全な育成を図った。

**事業評価・今後の活動の見通し**

「ハンドストラクチャー(様々な溝)」と「テストスキー」の整備により、大会当日の雪質に合わせた滑走性の良いスキーの溝を選択することができ、上越地区大会、県大会での入賞、全国中学校スキー大会に出場等の好成績を取めた。今後も今回整備したハンドストラクチャーとテストスキーを活用してスキーを続ける環境づくりに努め、子どもたちの更なる活躍を目指すとともに、元気あふれる牧っ子の育成に取り組んでいきたい。

事業費 337,000 円

補助金額 337,000 円

No.05**地域づくり活性化事業**

まちづくりの推進

NPO法人 牧振興会

事業概要

牧区と牧区外の子どもの交流の場を提供し、元気のある地域を目指すことを目的に、キンボールやリースづくりなど子ども参加型イベントを開催した。イベントを通して、区外にも牧区の魅力を広く発信することができた。

**事業評価・今後の活動の見通し**

コロナ過により、参加人数を制限したイベント開催となったが、昨年に引き続き参加される方や参加者同士で誘い合うなど、交流の輪が広がる傾向が見られた。今年度は昨年度の反省を踏まえ、牧区らしい活動内容を模索し、更なる地域発展の一助になる内容と仕組みづくりを構築することができた。来年度も活動内容の継続や反省点を生かした活動を考え、今後も牧区らしい牧区にしかできない活動内容を模索していきたい。

事業費 367,713 円

補助金額 350,000 円

No.06**沖見地区観光拠点づくり事業**

観光振興

レストハウス「けやき」周辺整備の会

事業概要

レストハウス「けやき」前の荒廃地を沖見地区の観光拠点とすることを目的に、コスモスや紫陽花の植栽を行った。また、遊歩道をトレッキングとして楽しめるよう整備し、ふるさと村の利用促進に寄与した。

**事業評価・今後の活動の見通し**

景観整備と賑わいを取り戻すためにコスモスや紫陽花を植栽する本事業は4年目を迎え、継続することで知名度も上がり、訪れる方もさらに増加した。コロナ禍で閉塞感のある世の中だが、「花を見て元気になった」という来場者の声もあり、活動を続けて良かったと感じる。今後も花の植栽や散策ルートの整備を行うことでボリューム感をアップし、SNS等を活用した事業のPRを図りたい。

事業費 166,857 円

補助金額 166,000 円

No.07

牧フレッシュガールズ活動活性化事業

子どもの健全育成

牧フレッシュガールズ

事業概要

子どもたちのバレーボール技術や心身の向上を図ることを目的に、練習環境の整備や牧区を拠点とした交流会を行ったことで、牧区との関わりをより一層深めることができた。

事業評価・今後の活動の見通し

練習環境を整備したことで一層練習に励むことができ、交流試合後に他チームの子どもたちと交流する場面も見られ、子どもたちの世界や視野を広めることで心身を育むことができた。また、体験会や見学会、30周年記念事業を通して新メンバーの増員や支援者からの協力、地域との関わりを深めるきっかけとなった。牧区を拠点とした交流会等により、他地域の方々に牧区をPRする機会をつくるなど、地域活性化の一助となることができた。



事業費 213,059 円

補助金額 213,000 円

No.08

棚広新田の魅力発見スタンプラリー事業

まちづくりの推進

棚広新田町内会

事業概要

区外の方から棚広新田集落に関心を持っていただくことを目的に、参加者が集落内を巡るスタンプラリーを開催した。参加者が美しい景色を眺めたり住民と交流することで、住民が集落の魅力をも再認識することができた。

事業評価・今後の活動の見通し

参加者からスタンプを集めながら集落内を巡っていただくことで、景色の良さや歴史などの集落の魅力を発見していただくことができた。加えて、高齢化が進む集落にとっても、参加者との交流が「活力の向上」や「地域の誇り」を再認識することにつながった。また、イベント開催チラシを高田地区を含む広範囲へ新聞折り込みをしたり、事業の内容が新聞記事に掲載されたことにより、小さな集落でも活性化に向けて頑張っていることを発信できた。



事業費 479,197 円

補助金額 400,000 円

No.09

「うたって・おどって・みて」楽しい暮らしを応援事業

まちづくりの推進

牧文化協会

事業概要

健やかな牧区の暮らしを支援するため、「夢まつり」や「昭和の花嫁行列」を開催した。作品展や芸能発表の機会を提供することで、生涯学び続けることの楽しさを伝え、参加者や鑑賞者の裾野を広げることに寄与することができた。

事業評価・今後の活動の見通し

「夢まつり」、「昭和の花嫁行列」を実施したことにより、「生涯学び続けることの楽しさ」を伝え、文化活動参加者や鑑賞者の裾野を広げ、健やかな牧区の暮らしを応援することができた。特に「昭和の花嫁行列」では、当日の悪天候にも関わらず、大勢の方々が来場され、催しをあたたく応援していただいた。今後も文化活動を通じた地域の交流や元気づくりの場を維持し、地域の皆さんが求めているテーマについての研究を重ねていきたい。



事業費 388,591 円

補助金額 329,000 円

No.10**宮口古墳美化活動事業**

環境保全・景観形成

宮口古墳花の会

事業概要

地域に広く活用される憩いの場を目指すことを目的に、宮口古墳公園内の花壇を整備した。花壇づくりの運営委員及びボランティアを募って行ったことで、地域の活性化やコミュニケーションの増進を図った。

事業評価・今後の活動の見通し

宮口古墳公園内の花壇づくりを通して、交流の輪が広がり地域の団結力が強まるなど、コミュニケーションの強化が図られた。また、インターネットで紹介された効果もあり、写真撮影に訪れる人や区外からの家族連れも多く見られた。宮口古墳や資料館への関心も高まり、来場者も増加して話題になることが増えたと感じる。今後も宮口古墳や資料館を広く周知するために活動を継続し、大切な牧区の財産を守っていききたい。



事業費	372,215 円
------------	-----------

補助金額	372,000 円
-------------	-----------

No.11**川上 山里の風事業**

まちづくりの推進

川上地区協議会

事業概要

地域の活力を維持し、山間地の現状と魅力を発信することを目的に、国登録有形文化財である木造体育館「川上会館」を活用し、コンサートを開催した。

事業評価・今後の活動の見通し

コンサートの内容は好評で、計画していた入場者数を上回る方が来場され、事業の目的及び期待する効果について計画どおり達成することができた。この催しが回数を重ねるごとに区内に浸透して期待感が感じられ、リピーターも増えて目指す姿が見えてきている。今後は区外への発信を課題として、国登録有形文化財「川上会館」だけでしか味わえない雰囲気を出して強く広報することで、目的に向かって進んでいきたい。



事業費	481,852 円
------------	-----------

補助金額	385,000 円
-------------	-----------

No.12**地域の活性化促進事業**

まちづくりの推進

牧区地区協議会連絡会議

事業概要

地域の活性化と発展持続性につなげ、地域外への情報発信を目的に、「まき深山のともしび」を開催した。コロナ禍で閉塞感のある中、地域住民が協力してイベントを実施し、雪国の一夜限りの冬のイベントを演出できた。

事業評価・今後の活動の見通し

「まき深山のともしび」は新型コロナウイルスに配慮した中での開催となったが、会場設営は地区毎の創意工夫がなされ、来場者に牧区の一休感をアピールすることができた。コロナ禍で閉塞感のある中、イベントを実施することで多くの人々に感動を与えたと同時に、開催者である牧区地域住民の活力にもつながったと思われる。今後も「まき深山のともしび」としての個性をどのように出していくかを考えながら、全体の動きとともに継続して実施していきたい。



事業費	997,449 円
------------	-----------

補助金額	995,000 円
-------------	-----------

No.13

剣道活動における安全環境整備事業

子どもの健全育成

牧剣友会

事業概要

心身ともに健全に稽古に励む環境を整えることを目的に、剣道に使用する防具等の整備を行った。

事業評価・今後の活動の見通し

劣化した防具を新たに整備したことにより、コロナ禍において懸念される衛生面でも子どもたちが安全・安心な環境で活動を行うことにつながることができた。稽古の様子からも真剣さと向上心が伺え、集中して稽古を行える環境を整備することができたと思われる。今後も、防具等を有効活用し、引き続き児童の健全育成を図っていきたい。



事業費 360,000 円

補助金額 360,000 円